



令和3年10月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和3年10月分について、輸出額は「金属加工機械」などが増加したものの、「自動車」、「自動車の部分品」などが減少したことから、対前年同月比4.3%の減少となった。また、輸入額は「原油」などが減少したものの、「アルミニウム及び同合金」などが増加したことから、同19.2%の増加となった。その結果、差引額は6,220億円（同15.4%の減少）となった。

注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による
また、★印は全ての月を通じて過去最高を示す（1979年1月以降のデータを基礎として比較）

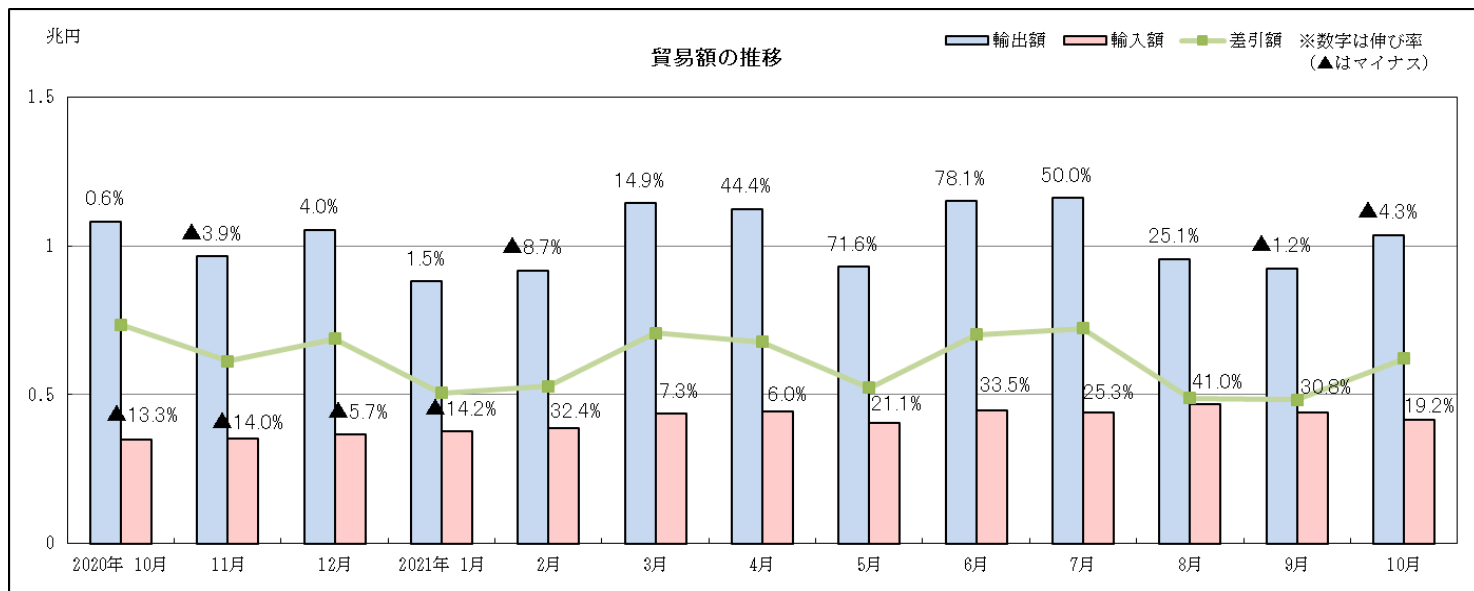
○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆0,369億円	▲4.3%	4,149億円	+19.2%	6,220億円	▲15.4%
	2ヵ月連続の減少		9ヵ月連続の増加		2ヵ月連続の減少	
管内（名港シェア）	1兆5,656億円（66.2%）		7,778億円（53.3%）		7,879億円	（—）
全国（名港シェア）	7兆1,840億円（14.4%）		7兆2,514億円（5.7%）		▲674億円	（—）

注）名古屋港における差引額は、平成23年6月以降125ヵ月（10年5ヵ月）連続 全国港別（空港を含む）第1位

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	増加 (1) 金属加工機械	418億円	+69.0%	+1.6	8ヵ月連続の増加
	減少 (1) 自動車	1,766億円	▲34.5%	▲8.6	2ヵ月連続の減少
	減少 (2) 自動車の部分品	1,726億円	▲9.6%	▲1.7	8ヵ月ぶりの減少
輸入	増加 (1) アルミニウム及び同合金	319億円	+140.3%	+5.4	10ヵ月連続の増加
	減少 (1) 原油	—	全減	▲2.8	8ヵ月ぶりの減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。
名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。